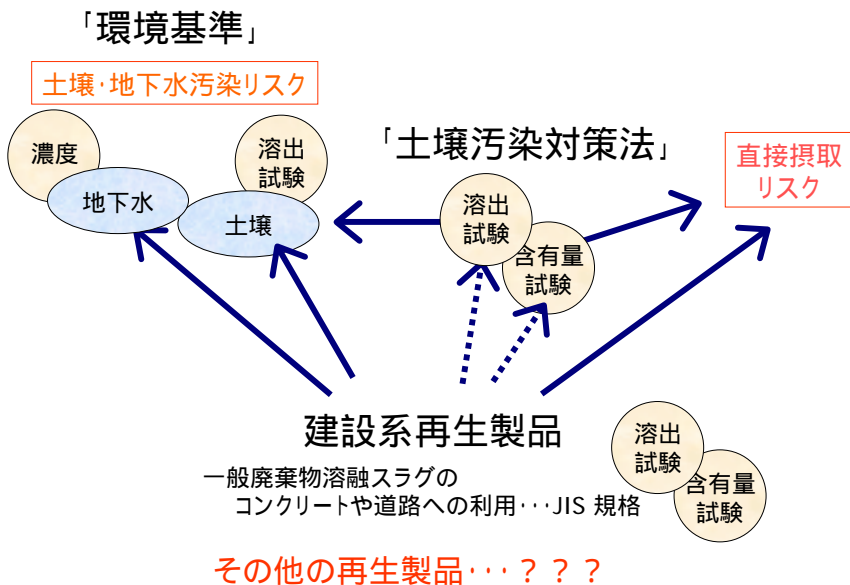


2006-05-25
道府県リサイクル製品
認定担当者会議

建設系再生製品を対象とした 環境安全性評価試験の システム規格化に向けて

独立行政法人 国立環境研究所
循環型社会・廃棄物研究センター
肴倉 宏史

環境安全管理制度の相互関係



なぜ、建設系再生製品の環境安全性か

「建設系再生製品は、」

- 市民生活に身近な存在か？ ……
- 購入者はリスクの被影響者か？ ……×

 - 公共空間で利用 被影響者は不特定

- 現行の環境安全管理制度に合致しているか？ ……

 - 土壤環境基準、土壤汚染対策法指定基準等を準用
 - 合致していないとの一般的認識が浸透すれば…？

- そもそも、環境安全性はどうやって測ればよいのだろうか？ ……？

 - さらに、どのように管理していくべきか？

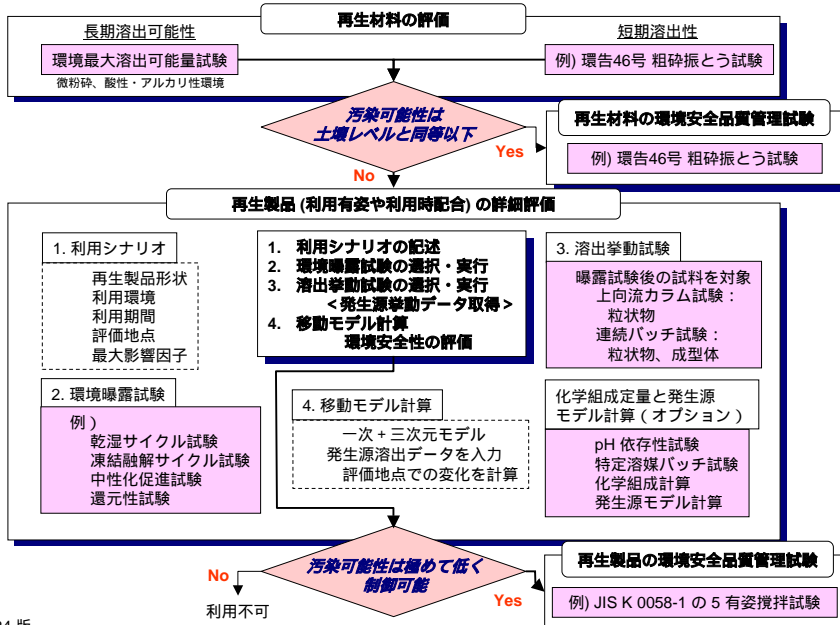
現行の溶出試験を準用する際に意識すべき点

再生製品に対して安全側？ 危険側？

1. 適用対象は再生材料？ 再生製品？
 - 有効利用の間口、再々利用時の扱い
2. 再生製品の形状は多様。2 mm以下に粗砕は適切？
 - 成型品や塊状物
3. 再生製品の利用環境は多様。曝露環境による影響を評価できている？
 - 例) クロム含有製品の環境中での酸化

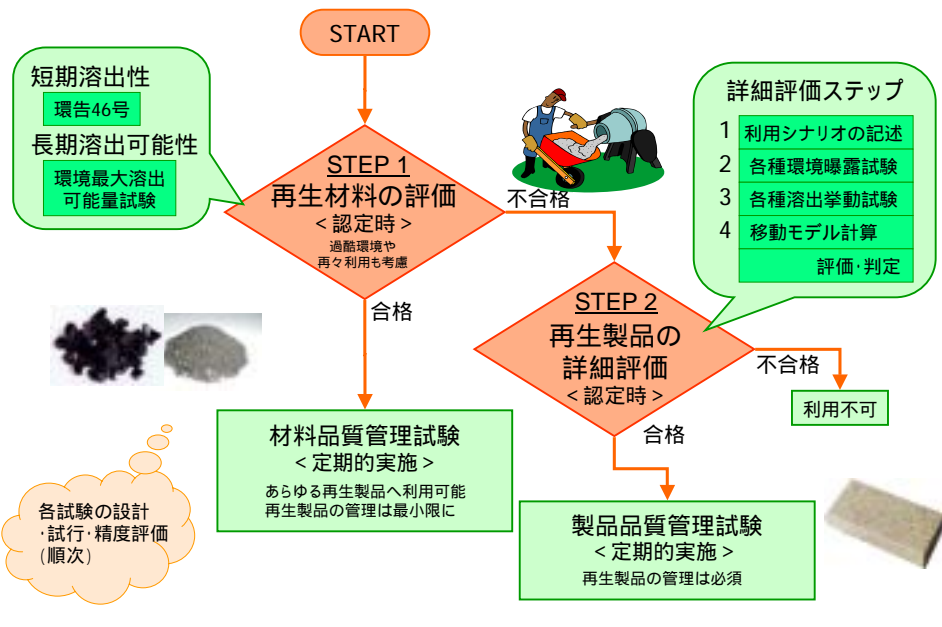
廃棄物処理等科学研究「再生製品に対する環境安全評価手法のシステム規格化に基づく安全品質レベルの合理的設定手法に関する研究」

環境安全性評価フレーム私案 < 詳細 >



2007-05-24 版

環境安全性評価フレーム私案 < 概要 >



再生製品環境安全性試験 廃棄物学会規格化 実行体制

再生製品環境安全性評価試験
規格化専門委員会

- ・規格の審査、承認
- ・精度調査(公募)

精度調査
参加機関
募集中

昨年度:
18機関参加
現在、23機関登録

廃棄物試験・検査法研究部会
分析機関コアメンバー

- ・溶出試験私案の試行
- ・精度調査への参加

廃棄物処理等科学研究「再生製品に対する環境安全評価手法の
システム規格化」に基づく安全品質レベルの合理的設定手法に関する研究

研究期間: H17 ~ H19年度、大迫政浩(代表)他 9 名

- ・溶出試験私案の作成
- ・溶出モデル、移動モデル作成
- ・合理的な安全品質レベル設定

再生製品環境安全性試験 廃棄物学会規格化までの流れ(案)

正式規格

承認
最終修正
公示

規格化専門委員会

原案規格

承認 ----- 規格化専門委員会
執筆 ----- 規格化専門委員会 執筆担当
精度調査(公募) ----- 規格化専門委員会 公募担当

草案規格

提案 ----- 科研費 G
試行 ----- 科研費 G &
コアメンバー

規格私案

環境安全性評価試験規格(案) 全体概要

規格分類	詳細	原案など	H18年度 まで	H19年度予定					
				4-6月	7-9月	10-12月	1-3月		
用語規格		新規							
フレーム規格	<環境安全性評価フレームの骨格を提示>	新規		提案	審議	(継続)	(継続)		
ガイドライン (規格)	<環境安全性評価フレームの詳細を記述>	新規			提案	審議	(継続)		
試験規格	材料	材料評価 単一パッチ試験(粗砕)	環告46号(JIS K 0058-1の6.)						
		環境最大溶出可能量試験	NEN 7371 改	試行B	精度評価	審議	(継続)		
		材料管理 単一パッチ試験(粗砕)	環告46号(JIS K 0058-1の6.)						
	製品	環境曝露	乾湿サイクル試験	新規	試行B	試行A	(継続)	試行B	
			凍結融解サイクル試験	JIS A 1148 改	試行B	試行B	(継続)	試行B	
			中性化促進試験	JIS A 1153	試行B				
		溶出挙動	上向流カラム試験	CEN TS 14405 (ISO)		試行B	(継続) 提案	精度評価	(継続)
			連続パッチ試験	新規	試行B	試行A	(継続)	提案	精度評価
			単一パッチ試験(有浸)	JIS K 0058-1の5					
		化学種	pH依存性試験(自動調整)	CEN TS 14997	試行B				
			pH依存性試験(初期添加)	CEN TS 14429 (ISO)		試行B	(継続) 提案	精度評価	(継続)
		特定溶媒単一パッチ試験	新規	試行A				試行B	
		製品管理 単一パッチ試験(有浸)	JIS K 0058-1の5						
規格化専門委員会				第1回	第2回	第3回	第4回		

注) 太字(提案、精度評価、審議)は規格化専門委員会議事対象(予定)
 試行A、試行Bは委員に意見を仰ぎながら、科研費グループとコメンパーで実行。
 試行A: 新規試験の最適条件検討などの段階での試行(コメンパー内)
 試行B: 既存試験ベース、または新規試験では試行Aを経てある程度条件確定後、精度評価前段階の試行(コメンパー内)

再生製品安全性評価試験 学会規格化事業について

